

事例11： 匿名C病院（関東地域）の取り組み

「大量の職員を欠いた中であっても、職員一丸となって病棟運営を保持した」

概要

- （状況）入院患者計31人が感染。病院職員24人が感染、19人が濃厚接触者に該当。
うち急性期一般病棟の看護職員は18人が感染、6人が濃厚接触者に該当。
- （支援）11/29～12/20現在、延べ24人の理学療法士等、外来看護師6人、手術室看護師7人が支援。
支援場所は急性期一般病棟2病棟。
- （結果）計24人の病棟看護師の不在分を対応した。

コロナ対応病棟での支援

<コロナ対応病棟>

- ・コロナ感染患者に対してのリハビリテーション提供：あり
（2～3単位：40～60分実施、術後患者、廃用症候群に対する機能訓練、生活動作練習）
- ・環境調整（清掃業務、ベッドメイキングを実施）
- ・食事援助（食事介助）
- ・排泄援助（トイレ誘導）
- ・活動・休息援助（移動介助、体位変換、不穩患者の見守り）
- ・清潔・衣生活援助（清拭、口腔ケア、おむつ交換、病衣交換）
- ・感染予防技術（医療廃棄物の運搬、防護具の補充）
- ・新型コロナウイルス感染症対策（病棟内の消毒、物品搬送）
- ・夜勤支援：なし

その他の病棟での支援

院内全体の清掃業務、感染防護具の病棟在庫の管理、唾液によるPCR検体の採取支援、物品搬送業務を実施。
感染管理看護師とともに感染対応のための院内掲示物（防護具着脱方法、病棟別ゾーン表示図）の作成、掲示。
機能訓練室に感染対策本部および防護具配給拠点を設置。（院内活動拠点のため一部提供）

病院プロフィール

- 病院の機能説明：
脳外科、整形外科、内科を中心とした二次救急病院
- コロナ患者対応：あり
7病室ベッド16床
（元来0床だが感染発生に伴い対応開始）
- 全病床数：127床
コロナ感染専門0床
回復期リハ病棟29床
療養型0床
- 感染対策の教育：
感染管理看護師、医師からの教育および医師、看護師に随行して活動